



市川中HP

76th 市川中学校卒業式

▼3月9日(木)市川中学校第76回卒業式が行われました。コロナ禍への対応が緩和の方向に動き出したことを受け、4年ぶりに在校生も参加しての卒業式になりました。▼卒業証書授与では、担任の呼名に対し、卒業生一人一人が、「はい」という大きな声で返事をし、壇上に上がりました。私から「おめでとう」と一声かけ証書を渡すと、「ありがとうございます」と堂々と受け取る生徒の姿から、仲間とともに過ごした3年間の充実ぶりが伝わってきました。▼校長式辞では、令和2年4月の入学以来、新型コロナウイルスにより、学校生活においても様々な制約や変更を余儀なくされ続けた3年間でしたが、みんなで知恵を出し合い、協力し合いながら、一つ一つ困難を乗り越え、行事を成功に導いてくれたこと。また、日常生活においても、常に真面目に前向きに、諸活動に粘り強く取り組み、下級生の良き手本となってくれたことを称えました。▼そして最後に、卒業後も「高い志」をもってほしいこと、本を読み続けてほしいこと、感謝と人を気遣う心もち続けてほしいことの3つを「はなむけの言葉」として贈りました。▼続いて、在校生から卒業生に、市川中のリーダーとして、陵風祭や部活動、委員会活動で下級生を引っ張ってくれたことへの感謝と、これからは、卒業生に代わり自分たちが市川中の良き伝統を引き継いでいく決意を伝えました。また、「あなたへ」を合唱し、巣立ちゆく卒業生にエールを贈りました。▼式の最後は、卒業生による発表でした。中学1年からの楽しかったことや仲間との思い出が次々に語られ、市川中での3年間を振り返りました。そのすべてが合唱曲「道」の歌詞にある「特別な時間」であったことだと思います。さらに、



後輩たちへの激励のメッセージ、大切な家族への感謝の思い、そしてお世話になった先生方への感謝の言葉が述べられました。フィナーレは合唱曲「エール」でした。



「さよならは悲しい言葉じゃない。それぞれの夢へと僕らをつなぐYELL」の歌詞の通り、義務教育を終え、それぞれの未来に力強く旅立とうとする思いが伝わってきました。▼卒業生が「全力疾走〜Be Together As One」をテーマに、最後の授業を厳粛で感動的な式にしようと全員で取り組んだすばらしい卒業式でした。この巣立ちゆく卒業生の立派な姿は下級生にとっても大きな刺激となり、財産になったことと思います。▼結びに、3年間に渡り市川中学校の教育にご理解とご協力を賜りました保護者の皆様に感謝と御礼を申し上げます。希望に満ち溢れた卒業生52名の前途に、幸多きことを願います。

3年生 ありがとうの会

▼卒業式を2日後に控えた7日(火)、1・2年生が3年生への感謝の気持ちを伝える「3年生ありがとうの会」が行われました。▼会はグラウンドに整列した1・2年生による「君に捧げる応援歌」の大合唱から始まりました。そして、代表者からの3年生へのメッセージと、系列ごとに準備したプレゼントが渡されました。▼3年生からは、櫻田大也応援団長をはじめとする応援団が、1・2年生に力強いエールと、「継承・創造・結束」のメッセージを伝えました。▼その後、生徒会執行部の新旧引継ぎが行われ、高室太虎、菅原琉珂、新旧会長から、それぞれ感謝とこれからの決意が述べられました。▼卒業式を前に、双方の気持ちのこもった感動的な会でした。

